

短期大学部

1. 教育研究上の目的

本大学は高等学校の教育の基礎の上に生物生産技術学、環境緑地学及び醸造学に関する実際の専門職業に重きを置く大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とする。

2. 教育目標

短期大学部は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 自らの感性と体験を通じて「生きる力」を有する者
- (2) 幅広い知識を持ち、応用力を有する者
- (3) 農学関連産業で活躍できる者

3. ディプロマ・ポリシー

短期大学部は、建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、本学での学びを通じて幅広い知識と応用力を育み、自らの感性と体験を通じて得た「生きる力」をもって、農業およびその関連産業で活躍できる人材を輩出するため、以下のいずれかの能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 生物生産分野における専門的、実践的知識とその応用力を身につけている。
- (2) 緑豊かな生活環境の創造分野における専門的、実践的知識とその応用力を身につけている。
- (3) 醸造・食品製造分野における専門的、実践的知識とその応用力を身につけている。

4. カリキュラム・ポリシー

短期大学部は、教育の理念「実学主義」に基づき、農学に関する実践的、専門的な職業教育を施し、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針のもと教育課程を編成します。

- (1) 幅広い知識と教養を身につけるため、専門科目の導入的な科目を学部共通科目として配当する。
- (2) 専門知識の修得に必要な基礎となる科目を「専門基礎科目」に配当する。
- (3) 専門知識を深く理解するための専門・応用科目を「専門コア科目」に配当する。
- (4) 実践的な技術と応用力を修得するため、「専門基礎科目」及び「専門コア科目」には実践的な科目を配当する。

5. アドミッション・ポリシー

短期大学部では、人間生活に直接かかわる食料生産、環境や食品などの実際的な課題に興味を持ち、その問題解決に向けて意欲的に取り組み、社会に貢献できる人材の養成を目指します。そのため、本学では次のような学生を求めています。

- (1) 農業（畜産を含む）または関連産業の後継者になろうとする意欲がある、また生物生産業または関連産業の経営者、指導者、技術者を目指している、さらに動植物に興味と関心を有し、身につけた知識と技術で社会に貢献しようとする意欲がある。
- (2) 公園、庭園、里地・里山および自然植生などの緑地、植物・昆虫・動物、生物多様性などの自然環境分野ならびに環境問題に興味・関心を持ち、時代の要請に則した緑豊かな生活環境の創造、自然との共生を実現するために努力を惜しまず、知識・技能を身につけようとする意欲がある。
- (3) 醸造、食品、微生物、食品分析、食の機能性、環境などに興味を持ち、醸造および食品業界の発展ならびに食の安全、安心の担保に意欲がある。